



大阪市立 矢田東小学校

- 所在地 住道矢田2-7-43
- 電話番号 06-6702-9877
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741700>
- 校長 梶原 進
- 標準服 なし
- 集団登校 なし



学校概要

- 【学校教育目標】** 豊かな心を持ち、主体的に生き抜く子どもを育てる
- 【めざす子ども像】** なかよく助け合う子・すすんで取り組む子・つよい体にきたえる子
- 【校長先生のメッセージ】** 本校は東住吉区の南に位置します。大和川がすぐそばを流れ、田園風景のみられる自然豊かな環境に恵まれた地域です。今年度は創立 55 周年を迎えたので、秋に周年行事の開催を予定しています。子どもたちは、広い運動場に加え、ジャングルジムや雲梯・鉄棒のある芝生広がる緑豊かな中庭で元気いっぱい運動して、楽しく過ごしています。学校・家庭・地域で、学校教育目標の実現に向けて全力で取り組んでいます。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 家庭との連携を密に行い、生活指導案件に対して早期解決を図る。
- いじめの認知と解消に向けて、組織的な対応を行う。
- 道徳教育の充実を図る。
- 体験的な学習の充実を図る。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基礎基本の定着を図り主体的な学びを育む。
- 授業改善の推進を行う。
- 「矢田東漢字・計算クライミング」などで基礎学力の定着を図る。
- 施設・教具を有効に活用し、体力・運動能力の向上を図る。
- 休み時間を活用した業間体育を実施し、体力づくりを図る。
- 学級文庫の整備や学校図書館補助員との連携を図り、読書意欲の向上を図る。
- 給食指導や栄養指導を通して、児童の生活習慣の改善を図る。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICT機器の効果的な活用を図り、毎日の授業改善を実践する。
- 教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	55	44	39	37	42	39	256
学級数	2	2	2	1	2	2	11
特別支援学級							4

全国学力・学習状況調査結果（令和6年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数
平均正答率(%)	53	47

国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」の2領域において特に課題が見られた。これまでの本校の課題と照らしても、その改善のために「音読・視写・ふり返し」を取り入れた授業改善などが必要であると考えられる。一方、「書くこと」については全国平均に最も近い結果であることから、教員の一人一授業による公開授業に加え、メンター研修やスクールアドバイザーによる教科指導の研修を継続し、成果の維持・向上を図る。

算数では、「変化と関係」と「データの活用」の2領域において特に課題が見られた。本校では、全国学力調査の算数科で求められる力として〈図やグラフなどの資料を活用して論理的に考える力〉であると分析している。改善のためには、友だちと教え合うなどの言語活動を授業に取り入れ、児童が自身の思考のアウトプットをする経験を積み重ねていくことが大切である。また、国語・算数の結果に共通して、正答数分布グラフが三極化していることに特徴があると分析している。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和6年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子		15.67	16.33	35.13	34.00	44.00	9.60	147.60	19.57	49.71
女子		15.67	16.60	38.25	33.48	36.81	9.54	142.80	14.45	53.20

今年度の新体力テストの平均値を見ると、男子では長座体前屈が大阪市・全国平均大きく上回っている。他の種目でも大阪市や全国平均に迫っているもの（握力・20mシャトルランテスト・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ）もある。女子は握力・長座体前屈・20mシャトルランテスト・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げで大阪市・全国の平均と同じか上回っている。男子は在籍数が少ないこともあるので、平均値としてみると厳しいのかもしれない。数値で見ると男女ともに、上体起こしに課題がみられる。体力合計点は、男子は大阪市・全国に比べると下回っているが、女子は大阪市を上回り全国平均にはもう少しのところまで上がっている。また質問紙での「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況は、男子が「好き」は80%（やや好きを加えると100%）で、女子は「好き」は57.1%（やや好きを加えると90.4%）であり、男女ともに大阪市・全国を大きく上回っている。しかし、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子は14.3%、女子は28.6%で大阪市・全国よりも多く、普段の運動時間を見ると課題があるといえる。

基礎学力の定着を図る

毎週火・水・金に矢田東タイムを設定し、朝学習や英語学習、補充学習の時間を設定して、子どもの学力向上に努めています。また、朝の読書活動や図書委員会の児童による本の読み聞かせ、図書館開放などを行い、自然と本に親しむ環境を整えています。「読書ノート」を活用し、年目標50冊（高学年）・100冊（低学年）をめざして読書活動に親しみやすくしています。



矢田東小学校 出前授業

矢田東小学校では、主体的に学び続ける子どもを育てるため、「本物」と出会う機会を多くもつようになっています。その代表的な取り組みとしては、多種多様な業界の第一線で活躍している方をゲストティーチャーとしてお招きして行う出前授業です。

過去には、食品企業・プロサッカーチーム・プロ野球チーム・オリンピック日本代表出場選手・テレビ局・携帯電話会社・水道局・環境局・図書館などたくさんの企業、行政等と連携して授業を行いました。



なかよく助け合う集団育成

年間を通して、異学年集団（1年生～6年生）による「なかよし班」を編成し、計画的に活動しています。活動内容は、集会活動・東小フェスティバルなどです。これらの活動を通して、なかよく助け合う子どもの育成をねらい、相手の気持ちを受け止めながらすすんで他者と関わるようにしています。



つよい体にきたえる

矢田東小学校には、運動場のほかに中庭もあります。2時間目と3時間目の休憩時間に「業間体育」・「かけ足週間」・「なわとび週間」などの体育的取り組みを設定し、年間を通して体力の向上に努めています。過去には大阪市の陸上大会に参加し、自分の記録を確かめる場も設定しました。



家庭・地域との連携

- 「昔遊び体験」「商店街調べ」「校区めぐり」などの体験活動
- 「矢田東子ども安全見守り隊」の方々やPTAによる毎日の登下校の見守り活動
- 近隣校区における幼保小連携・小小連携・小中連携・支援学校との連携
- 放課後や土日に行われるスポーツクラブとの連携

